

しろいし おおさき くりはら
国道4号(白石市、大崎市～栗原市)の
道路計画検討に関する意見聴取を実施します。
～みなさまのご意見をお聞かせください～

「国道4号白石市」及び「国道4号大崎市から栗原市」における道路計画の検討にあたり、地域のみなさまや道路を利用される方が重視される項目について、ご意見をお伺いするアンケート調査及びヒアリング調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

アンケート調査について

- 対象区間: ① 国道4号白石市斎川～大平森合
② 国道4号大崎市古川荒谷～栗原市高清水豊田
- 調査期間: 令和6年5月23日(木)～令和6年7月31日(水)
- 調査内容: 上記対象区間の道路計画の検討にあたり、地域のみなさまや道路を利用される方が重視する項目について、意見を把握するために実施します。

調査方法	実施方法	実施期間
インターネット (WEB)	仙台河川国道事務所ホームページに掲載します。 ① 国道4号白石市斎川～大平森合  https://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/r4/questionnaire/shiroishi.html ② 国道4号大崎市古川荒谷～栗原市高清水豊田  https://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/r4/questionnaire/oosaki.html	令和6年5月23日(木) ～7月31日(水)
返信用はがき	① 別紙の各調査対象地域にお住まいの方に、郵送または広報誌差し込みにて全戸配布します。 ② 別紙の各対象区間を利用する事業者へ郵送配布します。 ③ 各自治体の公共施設等にアンケート調査票と回収ボックスを設置します。 (設置箇所は別紙参照による)	令和6年7月1日(月) ～7月31日(水)

ヒアリング調査について

- 調査期間: 令和6年5月23日(木)～令和6年7月31日(水)
- 対象: 別紙の各対象区間の沿線地域及び広域的な利用が考えられる地域の自治体、団体、事業者。
- 調査内容: 上記対象区間の道路計画の検討にあたり、業務等で道路を利用される際に重視する項目について、意見を把握するために実施します。
- ※なお、対面での聞き取りを予定していますが、調査票送付と電話聞き取りによる対応も可能です。

【発表記者会: 宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会、福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ】

【お問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
TEL 022-248-4131(代表) E-mail: thr-dourotyousa@ki.mlit.go.jp副所長(道路担当) なるみ よしのり 鳴海 芳紀 (内線 205)
調査課長 いしかわ よしひろ 石川 勝浩 (内線 451)

●アンケート調査票・返信用はがきの配布

○調査対象地域にお住まいの方

- ・対象地域：白石市、大河原町、蔵王町、国見町
- ・配布方法：各市町の広報誌差し込みにて配布します。
- ・配布予定日：7月1日（月）～

○上記以外の方

下表【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】に示す公共機関、道の駅等にアンケート調査票・返信用はがきと回収ボックスを設置します。

また、インターネットによる回答も可能です。

●アンケートの回答方法

①インターネットによる回答

検索サイトや
スマートフォンから

インターネットによる回答を行う場合は下記の二次元コードか、「**仙台河川国道事務所**」で検索し、下記のバナーからアクセスしてください。



仙台河川国道事務所の
ホームページから

詳しくは「**東北地方整備局 仙台河川国道事務所のHP**」へアクセスしてください。



アンケートページ URL : <https://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/r4/questionnaire/shiroishi.html>

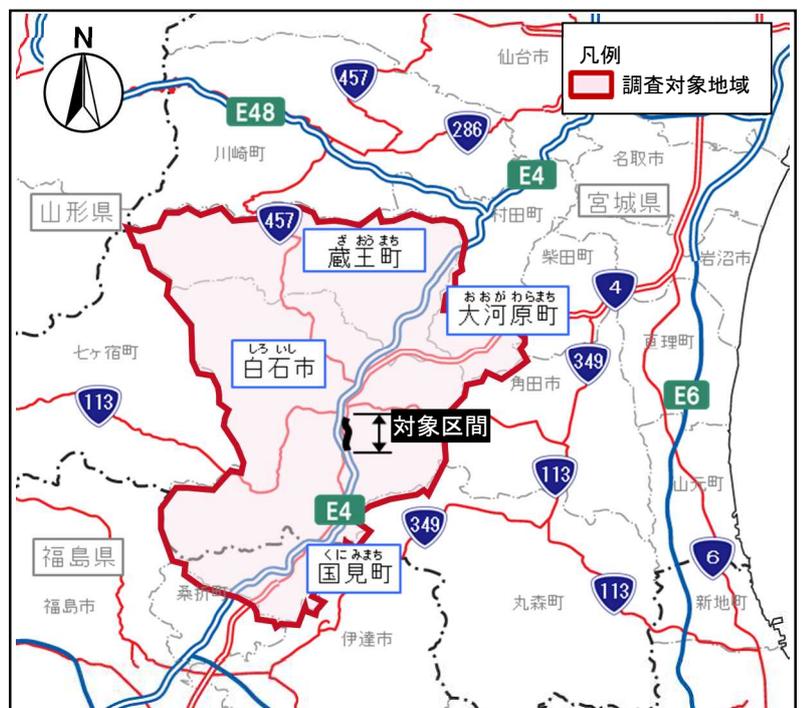
②返信用はがきによる回答

返信用はがきに回答をご記入いただき、お近くの郵便ポスト、または下表【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】に示す公共機関、道の駅等の回収ボックスへ投函してください。

【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】

	設置場所
国土交通省	・仙台河川国道事務所 ・岩沼国道維持出張所
宮城県	・宮城県庁 ・大河原合同庁舎
福島県	・福島県庁 ・県北建設事務所
市役所 町役場	・白石市役所 ・大河原町役場 ・蔵王町役場 ・国見町役場
公民館等	・白石市中央公民館 ・白石市文化体育活動センター ・金ヶ瀬公民館(大河原町) ・大河原町駅前図書館 ・大河原町中央公民館 ・蔵王町ふるさと文化会館 ・国見町観月台文化センター
道の駅等	・道の駅 村田 ・道の駅 国見 あつかしの郷 ・おもしろい市場 ・国見 SA ・菅生 PA

【調査対象地域及び対象区間】



●アンケート調査票・返信用はがきの配布

○調査対象地域にお住まいの方

- ・対象地域：大崎市（旧古川市のうち下図の範囲、旧三本木町、旧田尻町）
栗原市（旧花山村を除く）
登米市（旧南方町、旧迫町のうち北方・新田地区）
- ・配布方法：大崎市は郵送、栗原市及び登米市は広報誌差し込みにて配布します。
- ・配布予定日：7月1日（月）～

○上記以外の方

下表【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】に示す公共機関、道の駅等にアンケート調査票・返信用はがきと回収ボックスを設置します。

また、インターネットによる回答も可能です。

●アンケートの回答方法

①インターネットによる回答

検索サイトや
スマートフォンから

インターネットによる回答を行う場合は下記の二次元コードか、「**仙台河川国道事務所**」で検索し、下記のバナーからアクセスしてください。



仙台河川国道事務所の
ホームページから

詳しくは「**東北地方整備局 仙台河川国道事務所のHP**」へアクセスしてください。



アンケートページ URL : <https://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/r4/questionnaire/oosaki.html>

②返信用はがきによる回答

返信用はがきに回答をご記入いただき、お近くの郵便ポスト、または下表【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】に示す公共機関、道の駅等の回収ボックスへ投函してください。

【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】

	設置場所
国土交通省	・仙台河川国道事務所 ・古川国道維持出張所
宮城県	・宮城県庁 ・大崎合同庁舎 ・栗原合同庁舎 ・登米合同庁舎
市役所	・大崎市役所（本庁舎、三本木総合支所、田尻総合支所） ・栗原市役所（本庁舎、築館総合支所、金成総合支所、栗駒総合支所、鶯沢総合支所、若柳総合支所、志波姫総合支所、一迫総合支所、高清水総合支所、瀬峰総合支所） ・登米市役所（迫庁舎、南方庁舎）
公民館等	・地域交流センター（大崎市） ・大崎市図書館 ・西郷公民館（登米市） ・新田公民館（登米市）
道の駅等	・道の駅 おおさき ・道の駅 あ・ら・伊達な道の駅 ・道の駅 三本木 ・道の駅 みなみかた ・長者原 SA

【調査対象地域及び対象区間】



対応方針(ルート帯)の考え方



白石市はキャラクター
「ゴ子武者てじゅーろー」

A案 現道改良案

現道拡幅とすることで現道機能強化を図り、課題解消を図る案です。

B案 バイパス案

バイパス整備とすることで交通転換を図り、課題解消を図る案です。



ルート案	【A案】現道改良案	【B案】バイパス案	
ルート概要	多車線化により課題解消を図る案	バイパス整備により課題解消を図る案	
政策目標	代替道路としての機能向上 交通容量の確保	多車線化により、交通容量が確保され、交通混雑が緩和する。	バイパス整備(一部現道拡幅)により、交通容量が確保され、交通混雑が緩和する。
	交通安全の確保 安全な交通環境	交通混雑の緩和により、交通混雑や沿道出入りに起因する事故の減少が期待される。	交通混雑の緩和により、交通混雑や沿道出入りに起因する事故の減少が期待される。 ただし、バイパス区間の現道の交通環境は現況と変わらない。
	安全・安心な歩行環境の確保 安全・安心な歩行環境	歩道整備により、歩行環境の安全性が向上する。	バイパス整備により、現道の交通量が減少し、歩行環境の安全性が向上する。 ただし、バイパス区間の現道の交通環境は現況と変わらない。
	物流・地域産業を支える幹線道路の強化 物流ルートの走行性・速達性の向上	交通混雑の緩和により、物流ルートの走行性・速達性が向上する。 現道沿いで白石市が実施中の(仮称)白石中央スマートIC周辺整備エリアへのアクセスルートが強化される。	バイパス整備により、現道の交通混雑が緩和し物流ルートの走行性・速達性が向上する。 バイパス整備のため、現道沿いで白石市が実施中の(仮称)白石中央スマートIC周辺整備エリアに直結しない。
	安定した救急搬送ルート 救急搬送ルートの安定性・速達性の向上	交通混雑緩和により、救急搬送ルートの安定性・速達性が向上する。	救急搬送ルートの交通混雑緩和により、救急搬送の安定性、速達性が向上するとともに、救急搬送ルートの選択肢が拡大。
配慮すべき事項	生活環境 沿道生活環境への影響	現道拡幅のため、沿道生活環境への影響が大きい。	現道拡幅区間は沿道生活環境への影響が大きい、バイパス区間は沿道生活環境への影響が小さい。
	自然環境 地形・自然環境の改変	現道拡幅のため、地形改変が小さく、自然環境への影響は小さい。	バイパス区間が主のため、地形改変が大きく、自然環境への影響が大きい。
	脱炭素社会への貢献	交通混雑の緩和により、渋滞車両によるCO ₂ 排出量は減少する。	交通混雑の緩和により、渋滞車両によるCO ₂ 排出量は減少する。
周辺関連事業等との連携	現道拡幅のため、現行の都市計画とルートが合致し、現道沿いで白石市が実施中の(仮称)白石中央スマートIC周辺整備エリアと直接接続する。	バイパス区間においては、現行の都市計画とルートが合致しておらず、現道沿いで白石市が実施中の(仮称)白石中央スマートIC周辺整備エリアと直接接続しない。	
経済性 整備に関する費用	100~140億円	130~170億円	

Web 回答
はこちらから



みなさまのご意見をお聞かせください!

国道4号

白石市斎川~大平森合

道路計画検討に関する第2回アンケート調査

全4問
(約4分程度)

- 白石市の国道4号は、都市の発展とともに道路の利用が変化し、**対象区間**の道路に負担が生じているため、混雑や事故などの課題を抱えています。
- 本アンケートは、**対象区間**の道路計画検討にあたり、対応方針(案)を踏まえ、**対象区間**の課題解決のために重視すべき項目についてご意見をお聞きするために行う調査です。

※ご意見は統計的に処理し、住所・氏名や個人の意見等が特定されることはありません。



今回のアンケートと道路計画の流れ

地域や道路交通の現状と課題の整理

アンケート

道路交通・地域の課題把握

政策目標の設定
対応方針案の検討

アンケート

ルート案に対する意見の把握

対応方針案の決定

お問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 調査課

TEL 022-248-0048

Email thr-dourotyousa@ki.mlit.go.jp

(平日 9:15 ~ 18:00)

アンケートのご回答は

令和6年7月31日(水)

までにお願ひします。

第1回アンケート結果の概要

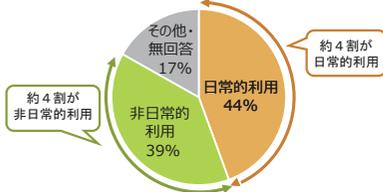
たくさんのご意見ありがとうございました！

詳細はHPで紹介中

実施期間
令和6年 7/31(水)まで
ご意見募集中！
国道4号
白石市斎川～大平森合

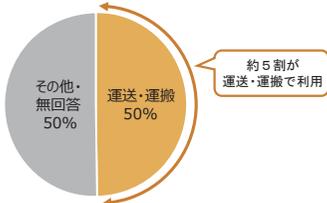
●対象区間の利用目的

住民・道路利用者 回答票数 6,560 票



※日常的利用：「仕事」、「通勤」、「通学」、「通院」、「家事（買物など）」、「送迎」の合計
非日常的利用：「レジャー・ドライブなど」
その他・無回答：「その他」、「無回答」の合計

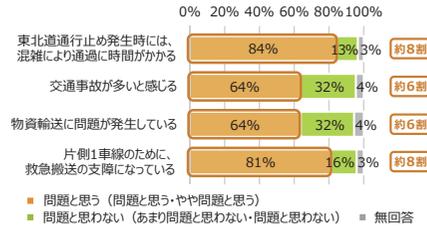
事業者 回答社数 98 社



※その他・無回答：「営業」、「送迎」、「無回答」の合計

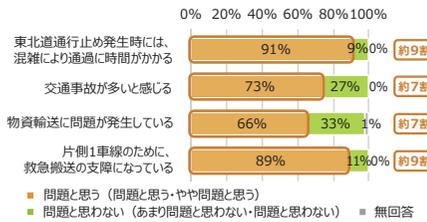
●課題の認識

住民・道路利用者 回答票数 6,560 票



■ 問題と思う（問題と思う・やや問題と思う）
■ 問題と思わない（あまり問題と思わない・問題と思わない） ■ 無回答

事業者 回答社数 98 社



■ 問題と思う（問題と思う・やや問題と思う）
■ 問題と思わない（あまり問題と思わない・問題と思わない） ■ 無回答

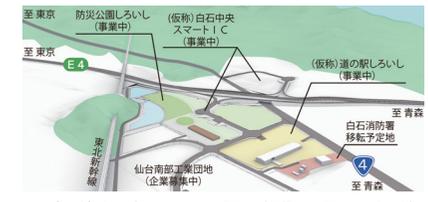
ご意見を踏まえて、ルート帯を検討する上で重視すべき事項について、以下の9項目を考えています

政策目標

- A 代替道路としての機能向上**
交通容量の確保
- B 交通安全の確保**
安全な交通環境
- C 安全・安心な歩行環境の確保**
安全・安心な歩行環境
- D 物流・地域産業を支える幹線道路の強化**
物流ルートの走行性、速達性の向上
- E 安定した救急搬送ルートの確保**
救急搬送ルートの安定性、速達性の向上

配慮すべき事項

- F 生活環境**
沿道生活環境への影響
- G 自然環境**
地形・自然環境の改変、脱炭素社会への貢献
- H 周辺関連事業等**
周辺関連事業等（(仮称)白石中央スマートIC周辺整備）との連携
- I 経済性**
整備に関する費用



▲ (仮称)白石中央スマートIC周辺整備エリアのイメージ

第1回アンケート結果を踏まえた課題の再整理

A 道路の信頼性

▼東北道通行止め発生時の混雑状況 (R4.6.7)



⇒東北道通行止めの際、迂回路がないため、国道4号に車が集中して大渋滞となるとの意見がありました。

B 事故

▼対象区間の沿道出入り箇所



⇒沿線集落へ右折する車があり、信号機もないため追突事故の危険性が高いとの意見がありました。

C 歩行環境

▼歩道未設置区間のバス停状況



⇒歩道がないバス停は危ないので、子供を歩かせるのは怖いとの意見がありました。

D 産業・物流

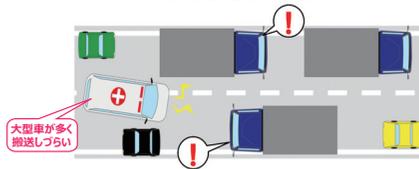
▼電子機器に関する原材料や製品の輸送ルート



⇒スマートICの整備や周辺開発が進めば対象区間の需要が増加し、現在より混雑する可能性があるとの意見がありました。

E 救急医療

▼救急搬送時の問題点



⇒片側1車線で大型車が多く追い越しが困難なため搬送に時間がかかり、追い越し時の加減速の回数も増えてしまい、患者への負担になっているとの意見がありました。

地域や道路の課題解消のため、2つの案を立案しました



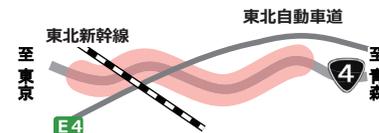
A案

現道改良案

現道拡幅とすることで現道機能強化を図り、課題解消を図る案です。

現道改良案4車線

設計速度 60km/h



B案

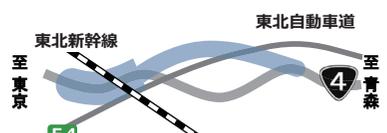
バイパス案

バイパス整備とすることで交通転換を図り、課題解消を図る案です。

バイパス案

拡幅部：4車線 バイパス部：2車線

設計速度 60km/h



対応方針(ルート帯)の考え方



栗原市公式キャラクター
ねじりほんよ

A案 現道改良案

現道拡幅とすることで現道機能強化を図り、課題解消を図る案です。

B案 バイパス案

バイパス整備とすることで交通転換を図り、課題解消を図る案です。



凡例	
	高規格道路
	一般国道
	主要地方道・一般県道
	4車線
	2車線
	市道
	市道(事業中)
凡例 (世界農業遺産 大崎耕土)	
	水田
	居久根
凡例	
	A案 現道改良案
	B案 バイパス案

ルート案	【A案】現道改良案	【B案】バイパス案
ルート概要	多車線化により課題解消を図る案	バイパス整備(一部現道拡幅)により課題解消を図る案
代替道路としての機能向上	交通容量の確保 ・多車線化により、交通容量が確保され、交通混雑が緩和される。	・バイパス整備(一部現道拡幅)により、交通容量が確保され、交通混雑が緩和される。
交通安全の確保	安全な交通環境 ・交通混雑の緩和により、交通混雑に起因する事故の減少が期待される。	・交通混雑の緩和により、交通混雑に起因する事故の減少が期待される。 ・ただし、バイパス区間の現道の交通環境は現況と変わらない。
安全・安心な歩行環境の確保	安全・安心な歩行環境 ・歩道整備により、歩行環境の安全性が向上する。	・バイパス整備により、現道の交通量が減少し、歩行環境の安全性が向上する。 ・ただし、バイパス区間の現道の交通環境は現況と変わらない。
物流・地域産業を支える幹線道路の強化	物流ルートの走行性、速達性の向上 ・交通混雑の緩和により、物流ルートの走行性・速達性が向上する。	・バイパス整備により、現道の交通混雑が緩和し物流ルートの走行性・速達性が向上する。
安定した救急搬送ルートの確保	救急搬送ルートの安定性、速達性の向上 ・交通混雑の緩和により、救急搬送ルートの安定性・速達性が向上する。	・救急搬送ルートの交通混雑緩和により、救急搬送の安定性、速達性が向上するとともに、救急搬送ルートの選択幅が拡大。
生活環境	沿道生活環境への影響 ・現道拡幅のため、沿道生活環境への影響が大きい。	・現道拡幅区間は沿道生活環境への影響が大きい、バイパス区間は沿道生活環境への影響が小さい。
自然環境	地形・自然環境の改変 ・現道拡幅のため、地形改変が小さく、自然環境への影響は小さい。 ・現道拡幅のため、世界農業遺産の水田等への影響は小さい。	・バイパス区間が主のため、地形改変が大きく、自然環境への影響が大きい。 ・バイパス区間が主のため、世界農業遺産の水田等への影響が大きい。
	脱炭素社会への貢献 ・交通混雑の緩和により、渋滞車両によるCO2排出量は減少する。	・交通混雑の緩和により、渋滞車両によるCO2排出量は減少する。
周辺関連事業等	観光拠点(化女沼周辺エリア)及び長者原スマートICへのアクセス強化のために整備中の市道と直接接続する。	・観光拠点(化女沼周辺エリア)及び長者原スマートICへのアクセス強化のために整備中の市道と直接接続しない。
経済性	整備に関する費用 190~230億円	210~250億円

Web 回答
はこちらから



みなさまのご意見をお聞かせください!

国道4号

ふるかわあらや 大崎市 古川荒谷 ~ 栗原市 たかしみず とよた 高清水豊田

道路計画検討に関する第2回アンケート調査

全4問
(約4分程度)



栗原市公式キャラクター
ねじりほんよ

●大崎市から栗原市の国道4号は、都市の発展とともに道路の利用が変化し、**対象区間**の道路に負担が生じているため、混雑や事故などの課題を抱えています。

●本アンケートは、**対象区間**の道路計画検討にあたり、対応方針(案)を踏まえ、**対象区間**の課題解決のために重視すべき項目についてご意見をお聞きするために行う調査です。

※ご意見は統計的に処理し、住所・氏名や個人の意見等が特定されることはありません。



今回のアンケートと
道路計画の流れ

地域や道路交通の
現状と課題の整理

アンケート

道路交通・
地域の課題把握

政策目標の設定
対応方針案の検討

アンケート

ルート案に対する
意見の把握

対応方針案の決定

お問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 調査課

TEL 022-248-0048

Email thr-dourotyousa@ki.mlit.go.jp

(平日 9:15 ~ 18:00)

アンケートのご回答は 令和6年7月31日(水)までお願いします。

第1回アンケート結果の概要

たくさんのご意見ありがとうございました！

詳細はHPで紹介中

実施期間
令和6年 7/31(水)まで
ご意見募集中!

国道4号
古川荒谷～清水水豊田

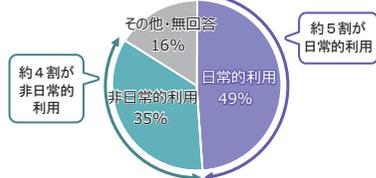


栗原市公式キャラクター
ねじりほんによ

ご意見を踏まえて、ルート帯を検討する上で重視すべき事項について、以下の9項目を考えています

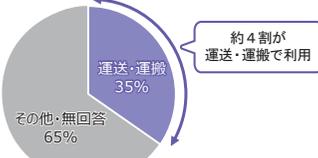
●対象区間の利用目的

住民・道路利用者 回答票数 10,349 票



※日常的利用：「仕事」、「通勤」、「通学」、「通院」、「家事（買物など）」、「送迎」の合計
非日常的利用：「レジャー・ドライブなど」
その他・無回答：「その他」、「無回答」の合計

事業者 回答社数 127 社



※その他・無回答：「営業」、「送迎」、「旅客」、「その他」、「無回答」の合計

●課題の認識

住民・道路利用者 回答票数 10,349 票



■ 問題と思う（問題と思う・やや問題と思う）
■ 問題と思わない（あまり問題と思わない・問題と思わない） ■ 無回答

事業者 回答社数 127 社



■ 問題と思う（問題と思う・やや問題と思う）
■ 問題と思わない（あまり問題と思わない・問題と思わない） ■ 無回答

第1回アンケート結果を踏まえた課題の再整理

A 道路の信頼性

▼東北道通行止め発生時の混雑状況 (R3.1.29)



⇒東北道が通行止めになった際は、大渋滞になり移動時間が通常の何倍にもなってしまったとの意見がありました。

B 事故

▼対象区間の混雑状況（冬期）



⇒混雑が発生しやすく追突事故の危険を感じるとの意見がありました。

C 歩行環境

▼歩道未設置区間の歩行者利用状況



⇒歩道が途中でなくなる区間があり、路肩を歩行している歩行者もいて危険との意見がありました。

D 産業・物流

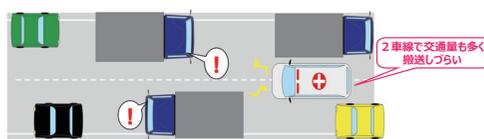
▼自動車部品製造工場輸送状況例



⇒東北道の通行止めにより対象区間が混雑し、定期便に遅れが生じ予定していた生産ができないことがあったとの意見がありました。

E 救急医療

▼救急搬送時の問題点



⇒2車線で交通量が多く、路肩に車両を停車できるスペースも少ないため、救急車での追越しが難しいとの意見がありました。

地域や道路の課題解消のため、2つの案を立案しました

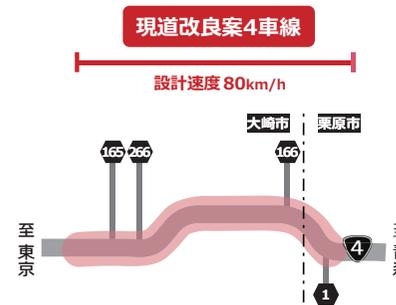


栗原市公式キャラクター
JCマリンさん
©2013 大崎市 #548

A案

現道改良案

現道拡幅とすることで現道機能強化を図り、課題解消を図る案です。



B案

バイパス案

バイパス整備とすることで交通転換を図り、課題解消を図る案です。

